

自分たちのまちは自分たちでつくろう

ふしおだい

コミュニティ

日本初・池田発
地域分権
ふしおだい
コミュニティ誌

Vol.25

発行：ほそごう地域コミュニティ推進協議会(伏尾台地区) 池田市伏尾台3丁目4-1-114 令和4年3月

地域住民が力を合わせることで、
この禍はきつと乗りきれぬはず。です。

平穏な日常が待ち遠しいまま迎えた、春。
わが町の自然は、何事もないかのように季節を育んでいます。
新年度もまだまだ制約の多い日々が続きますが、
明るいまちづくりのために住民の皆さんのご協力をお願いします。



※伏尾台地区の自然の素晴らしさを
日々撮影されている、谷口重久さん
から写真を提供していただきました。

ときどき耳にするんですが…

『コミ協』って、何なのですか？

そうしたお声に、改めましてご説明します。

実は、2007年に全国で初めての取り組みでしたが、池田市の基本条例による「地域分権制度」が制定されました。「自分たちのまちは、自分たちでつくろう」を合言葉に地域内のさまざまな課題について、住民の意見と市との協働で解決していこうという制度です。地域住民が自発的に話し合い、地域のためになる事業を市に提案すると、事業内容を査定し必要な予算をつけて実施できるように検討してくれます。

この事業提案のために、地域住民で組織する協議体の名称を「コミュニティ推進協議会」、略して『コミ協』と呼んでいます。



Q1

なぜ、この制度ができたのですか？

市の立場からは、公平性を保ちながら、しかもきめ細やかな政策を実現するために。また地域住民の立場からは、まちなみの課題をいちばん理解しているので提案しやすいことと、解決の協力と実現したときの満足度が得られるからです。

Q2

池田市に「コミ協」は
いくつあるのですか？

スタート時に市内の11小学校区に「コミ協」が設置されました。ほそごう地域では小学校区が一つになりましたが、地域性が考慮されて細河と伏尾台のそれぞれの協議会が維持されています。

Q3

どんな人が
所属しているのですか？

自治会や子ども会をはじめ、防犯・防災、高齢者、福祉、スポーツ、夏祭りなど諸団体のメンバーが参加していますが、もちろん所属の制限はありません。

Q4

どんな事業の提案が
できるのですか？

4つの事業部で、**高齢者世帯・子育て世帯の支援、防犯・防災対策、まちなみ環境の保全、イベントの開催や広報**などについて会議を行い、伏尾台地域の活性化につながる事業を検討して提案しています。

Q5

事業の提案と実施は、
どのように進むのですか？

定期的に話し合いのうえ、10月末までに総会の決議を経て市に事業提案します。市が事業内容を査定し、修正などもありますが実施予算が決定されます。

(※市が実施する事業と、コミ協が実施する補助金事業に分かれています。)

事業提案と予算・決算のスケジュール(年度は4月から3月末)

2022年 4月～10月：提案事業の内容の検討と計画の立案

2022年10月末まで：事業計画を市へ提案

2022年11月～翌3月：事業計画の査定後、3月の市議会で審議採決

2023年 4月～：コミ協(住民)が事業計画の実施を開始

2024年 3月末まで：年間の実施事業の決算報告

Q6

池田市の予算は、
いくら位なのですか？

市税の1%を上限として、各地域の人口・面積を考慮した予算(伏尾台では600万円程度)が付与されています。

単年度だけでなく中長期の事業実施もできるように、基金の積立でも可能です。

Q7

コミ協の会員になるには、
どうすればいいですか？

「活動の内容をもっと知りたい」とか
「より良いまちづくりのために協力したい!」といった方は、
まずはコミ協の活動拠点である
「コミプラ」にお立ち寄りください。
担当者がいてねいにお話をさせていただきます。

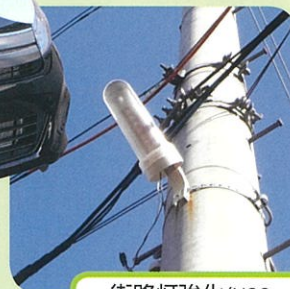


提案が実現した活動と今後の課題

- ◎安全パトロール隊(通称:青パト)の巡回活動
- ◎防犯カメラ、防災備蓄倉庫の設置と管理
- ◎秋の合同防災訓練の支援
- ◎公園遊具、樹木プレートの設置
- ◎コミュニティプラザ(通称:コミプラ)の開設と運営
- ◎コミプラでの子育て支援活動の実施
- ◎地域活性イベント(山びこフェスタ)の企画と開催
- ◎花いっぱい運動の支援
- ◎高齢者の交流会の実施
- ◎地域内交通サービス(らくらく送迎)の実施
- ◎伏小跡地を「はぐのさと」として活用促進
- ◎地域内公園のリニューアル計画の推進
- ◎地域内広報活動(広報誌やSNS)の推進



伏尾台安全パトロール(H20~)



街路灯強化(H22~24)



子育て支援ルーム(H22~)

会員を募集中です

コミ協の現在の会員数は46名。定例会は月1回。
4つの事業部(①広域連携 ②住環境 ③サポート ④協議会)で、
より良いまちづくりのための事業提案の話し合いを行っています。
皆さまの「コミ協」のご理解とご参加をお待ちしています。

◎令和3年度役員名簿

〈会長〉倉田晃 〈副会長〉川野芳紀・竹之下伸治
〈事務局長〉春山俊一 〈会計〉内藤健一 〈監事〉国重和雄
〈部長〉野口修・青木清男・谷口重久・竹之下恭子・岡田俊子



伏尾台送迎サービス(R2~)

ほそごう地域コミュニティ推進協議会(伏尾台地区)

お問合せ・お申し込みは: コミプラ内の常駐スタッフまで

HP「伏尾台で暮らす。」に、コミ協広報誌のバックナンバーを掲載しています。ぜひご覧ください。▶



コミプラ内にて「コンビニ端末」が稼働中！

マイナンバーカード（IC・暗証番号付）が必要ですが、住民票や印鑑証明書などの各種証明書の発行が可能です。その他コピーや写真印刷のサービスもご利用下さい。



ホームページ 伏尾台で暮らす。

伏尾台のまちの情報を幅広く掲載していますので、ぜひご覧ください。



フェイスブック
「伏尾台の話題」にも、
ぜひご参加ください。



ホームページ
「伏尾台で暮らす。」は
こちらからご覧ください。

地域内の無料・無償送迎サービス 「らくらく送迎」をご利用ください。

住民主体で運営する「らくらく送迎」は、スマホなどで簡単に予約可能な伏尾台オリジナルの無料・無償送迎サービスです。伏尾台センターでのお買い物や通院、子育て支援ルームへの通所や阪急バスへの乗り換えなど、多くの方にご利用いただいています。



◎お問い合わせは、
一般社団法人 伏尾台コミュニティ
(072・743・6384 伏尾台コミュニティプラザ) まで。

募 集

「らくらく送迎」の運転手さんを募集しています。

2020年1月からボランティアで活動を開始した無料・無償の伏尾台送迎サービスですが、今後更に利用が増える見通しで運転手不足が懸念されています。ぜひご協力をお願いいたします。

青パト活動にご協力下さい。

伏尾台の安全パトロール隊である通称「青パト」は、ボランティアさんが毎日交代で巡回しながら、地域のさまざまな安全を見守ってくれています。まだまだスタッフが不足していますので、隊員としてのご協力をお願いいたします。（※お友達やご家族のペアで乗車していただける方も歓迎です。）



その他のボランティアさんも募集中です。

「コミプラ」 お世話係さん・お掃除係さん

休憩や打ち合わせなどに使用できるコミプラ内のフリーサロンで、1回2～3時間のお世話係さん、閉館後のサロンやトイレのお掃除係さん。

「山びこフェスタ」運営スタッフさん

年間4～5回開催されるコンサートや落語会などのイベントの準備をサポートしていただける方。

「広報誌」「ホームページ」 取材スタッフさん

広報紙「ふしおだい」、HP「伏尾台で暮らす。」に掲載する情報の取材や撮影などのスタッフさん。

お問合せ・お申し込みは

コミプラの常駐スタッフにお申し付けいただくか、
ファックス（743-6384）にてご連絡ください。

ご意見 POST

「ご意見ポスト」「募金箱」のご案内

コミュニティ推進協議会へのご入会、ご意見、ボランティア・スタッフさんの参加などにつきましては、コミプラ内の「専用ポスト」または常駐スタッフにお申し付けください。また、コミプラ内に募金箱を設置しています。コミプラでのイベント等活動にご支援ご協力をお願いいたします。